

Campus News 2011

NiAS
PERFECT
GUIDE!
vol.3

NiASのアレコレ、もっと知りた〜い!!



説明会に
何度も参加して
担当者に顔を
覚えてもらい
ました!



学科の先生方に
色々相談したことで
充実した就職活動に
つながりました!



早期から
就職活動に
向けて準備
しました!

入社試験は
1社1社
全力で臨み
ました!



毎日の努力で
苦手だった
小論文を
克服!



経営情報学科
の教授による
SPI講座などが
役立ちました!



国家資格の
「臨床工学技士」
に必ず合格
します!



高校生のための
センパイたちに聞く
NiAS通信



面接対策で
本番でも
平常心で
臨めました!

CONTENTS

特集3

就職内定への道

就職内定を手にした8人に聞く
私が就職内定をGET!するまで01

学科別
News Topics03

就職内定への道

【私が就職内定をGET!するまで】

就職内定を手にした8人の学生に就職活動の留意点などを聞いてみました。



〈担当〉
北野 英夫
課長補佐

学生の皆さんを全力サポート！ キャリアセンター

就職活動を成功に導くポイントは、まず「自分ができる事を明確にして目標とする企業の研究をしっかりとる事」。また業界、業種を問わず多くの企業説明会に参加して企業を知る事も大事です。社会人としての素養を身につけたうえで、相思相愛の企業と出会うまで諦めずに活動を続けていけば、きっと結果は出るはず。私たちもそうした学生を、あらゆる方向からしっかりサポートしたいと思っています。

キャリアセンターでは、「企業開拓」「OB・OGが在籍する企業様への訪問」をはじめ、保護者との就職相談会や合同企業面談会の開催、学生に対する県外の合同企業説明会への無料バス送迎なども行っています。また、eラーニングによる基礎学習、就職試験対策、資格取得講座の学習を無償で提供中。キャリアカウンセラーによる就職相談や将来計画フォーラム(講義科目)も学生には好評です。



学科の先生方に色々相談したことで充実した就職活動につながりました！

(株)大島造船所 内定

福山 あすみさん
船舶工学科造船技術コース 4年 (長崎県/長崎日本大学高校出身)

Q 就職内定先を志望した理由は何ですか？

工学技術を身につけたいと考えていたときに、将来の仕事がイメージしやすく、その中で自分がしたいことを見つけていこうと考えて選んだのが船舶工学科。造船会社は私の能力を発揮できる業界と確信して就職を志望していました。造船業界フォーラムに参加した際、何か惹かれるものがあったことがこの会社に就職しようと思った一因です。

Q どんなことに留意・努力して活動しましたか？

まず、いろんなエントリーシートの作成教本を読んだり、共感できる部分を実践してみるからスタート。あとは、自分が大学でやってきたことを頭で整理するほか、専門である船舶の勉強や英語の勉強にも力を注ぎました。また、学科の先生方にも活動に関するいろいろな話を聞いていただいたことが、充実した就職活動につながっていたと思います。

協和機工(株) 内定

伊達 雄一さん
機械工学科 4年 (長崎県/佐世保南高校出身)

Q 就職内定先を志望した理由は何ですか？

将来、モノづくりに携わりたいと思い、その分野における技術が高く、就職率もよい本学へ入学を決めました。就職は、地元である佐世保のモノづくり関連企業を強く望んでいたため、就職活動が始まってすぐに先輩や先生方から内定先企業を含む様々な情報を収集。結果的に私に適していると判断した内定先の企業へ就職を決めることができました。

Q どんなことに留意・努力して活動しましたか？

就職対策講座で、就職活動のモチベーションを高めることから開始。実際の活動では一般常識と小論文対策として新聞を読んで知識をアップ。特に、苦手だった小論文に対応するため新聞のコラムを要約したほか、毎日テーマを考えて原稿用紙2枚程度の小論文を書いていました。ゼミ担当教授の指導、履歴書添削なども大いに力になったと思います。

毎日の努力で苦手だった小論文を克服！



面接対策で本番でも平常心で臨めました！

テラサキ伊万里(株) 内定

成瀬 友博さん
電気電子工学科 4年 (福岡県/筑陽学園高校出身)

Q 就職内定先を志望した理由は何ですか？

長崎にある大学で、興味のある電気分野を学ぶために選んだのが本学。電気電子分野を広く学んできましたが、就職が内定した企業では設計を担当することになりました。ここは先生から紹介された企業であり、ホームページやパンフレットなどで情報収集を行ううちに、働きたいという気持ちが強くなり採用試験を受験。合格に至りました。

Q どんなことに留意・努力して活動しましたか？

まず先輩から活動体験を聞いて準備をしました。試験対策としてはSPIなどの対策本を買って勉強。面接対策にも力を注ぎ、友人や先生と一緒に面接練習を行いました。本番のときでも平常心でいられるように努力しました。お世話になったのは就職担当教員の清山先生。面接や就職活動で困ったことなどがあたらしく相談に乗って頂きました。とても感謝しています。

国家資格の「臨床工学技士」に必ず合格します！



医療法人 祥仁会 西諫早病院 内定

赤司 唯さん
電気電子工学科医療電子コース 4年 (長崎県/諫早高校出身)

Q 就職内定先を志望した理由は何ですか？

国家資格である「臨床工学技士」を目指そうと思って、選んだのが長崎県で臨床工学技士を育成する学科・コースのある本学でした。当然、志望する就職先は臨床工学技士として働ける病院など。主にインターネットで情報収集を行っているときに、県内で最初の医療機器を扱っている病院ということを知ったのが興味を持ったきっかけでした。

Q どんなことに留意・努力して活動しましたか？

就職活動対策として、いちばん留意したのが「面接」です。面接で聞かれるようなことを予想し、その質問にしっかり対応できるよう準備しました。医療電子コースはまだ歴史の浅いコース。ですから川添先生の親身なアドバイスは本当にためになったと感謝しています。今、国家試験に必ず合格し、臨床工学技士となって内定先で活躍することを心に期しています。

アイシン・コムクルーズ(株) 内定

吉元 諭史さん
知能情報学科 4年 (長崎県/北松西高校出身)

Q 就職内定先を志望した理由は何ですか？

内定先は、同じ研究室に所属する先輩が内定を頂いていた企業。3年次12月にはターゲットの一つに定め、情報を集めました。マイナビを利用したり、パンフレットやホームページを読んだり、説明会に参加したり…。先輩から筆記試験や面接の内容も聞いてチェックしました。何度も説明会に参加して、担当者に顔を覚えられたこともいい結果につながったようです。

経営情報学科の教授によるSPI講座などが役立ちました！



(株)スズキ自販長崎 内定

山田 海斗さん
経営情報学科 4年 (長崎県/長崎南山高校出身)

Q 就職内定先を志望した理由は何ですか？

本学主催の合同企業面談会でお会いしたのがきっかけです。もともとスズキの自動車が好きで、面談会で人事の方に新型車のデザイン等の魅力を語ったことに始まります。それ以降、合同企業説明会等でスズキの方と挨拶を交わすようになり、仕事自体にも惹かれるようになりました。今思えば、自動車販売会社でのインターンシップもいい刺激になったようです。

Q どんなことに留意・努力して活動しましたか？

キャリアデザイン講座、フレッシュワーク、就職カウンセラーの活用のほか、合同企業説明会・単独企業説明会などへ参加したり、就活ノートを作成するなど、様々な対策を講じました。大学のカウンセラーとの面接練習や履歴書の添削指導、就活スキルアップ講座での情報交換、経営情報学科の教授によるSPI講座などが特に就活では役に立ったと実感しています。

入社試験は1社1社全力で臨みました！



岩崎産業(株) 内定

廣田 麻衣子さん
環境文化学科(現:人間環境学科)4年 (長崎県/鳴滝高校出身)

Q 就職内定先を志望した理由は何ですか？

何社もの説明会に参加する中で、自分に合う業界が分かってきたと思います。内定先は、その中の一社です。合同説明会などで直接話をお聞きしたことに加え、ホームページやナビ、そしてみん就などを活用して情報を積極的に収集。その際は、企業理念・大まかな業務内容・企業の特徴などをノートにまとめてチェック！自分に適した企業と判断して志望しました。

Q どんなことに留意・努力して活動しましたか？

準備として、就職対策講座・キャリアデザイン講座・キャリアカウンセラーなどを受講。それらをもとに自己分析とSPIの勉強を進めました。面接では熱意を伝えるように心がけ、1社1社全力で臨みました。また、ゼミのパークガフ二先生のアドバイス、インターンシップで感じた他大学学生の高い就職意識、ISOの家での活動など、どれも私の活動を支えてくれました。

松島建設工業(株) 内定

神近 敬大さん
建築学科 4年 (佐賀県/塩田工業高校出身)

Q 就職内定先を志望した理由は何ですか？

建築士の父親と同じ仕事に携わるために、選んだのが建築分野の勉強。高校よりもより深く建築を学ぼうと本学に入りました。内定を頂いたのももちろんその分野の会社です。学内での合同企業面談会に参加していたうちの1社で、この会社のサイトにアクセスして情報収集を行い、働きがいのある仕事に対する認識が高まったことから就職試験を受けました。

Q どんなことに留意・努力して活動しましたか？

私が就職活動に際して準備してきたことの一つに、就職フォーラム(将来計画フォーラム)への積極参加、そして早期からの面接対策があげられます。また活動自体では企業の実態を知る企業研究に取り組み、自己分析をしっかりと行いました。特に面接には力を注いでいたので、キャリアカウンセラーによる面接指導は本当に受けてみて良かったと思っています。



早期から就職活動に向けて準備しました！

01

人間環境学科

インドネシア共和国からの
jica 研修生を受け入れました



地域コミュニティでの意見交換

人間環境学科では、jica草の根技術事業の「小学校における環境保全活動の実施による持続可能な発展のための地域ネットワークづくり」で、インドネシア共和国のモデル校地域において環境教育及び環境活動を展開し、地域を構成する関係者の環境に対する意識の向上と

ネットワークづくりを進める取り組みに協力しています。

12月10日(土)にインドネシアからの3名の研修生を受け入れ、学科のISO14001認証登録の活動や、地域の環境活動について紹介しました。また、インドネシアでの活動についても報告していただきました。

学科からは各環境活動グループがそれぞれ紹介しました。

- ・ISOの家
学内及び学外における環境活動
- ・ISO14001事務局
EMSの理念と運用情報
- ・かえるのうた
地域のこどもたちへの環境教育を含んだ農業
- ・ぺんぎんの町
地域の古紙回収活動に関連付けた地域通貨の運用
- ・竹取物語
竹林整備活動ネットワークづくり



学内での活動紹介

02

建築学科

「住まいを創る―その意味を考える」
公開講演会



本学科が中心となって企画した公開講演会を10月28日長崎県美術館2階ホールにて開催しました(主催:環境・建築学部、後援:長崎県建築士会、日本建築家協会長崎会)。建築家で大阪市立大学教授の竹原義二先生による基調講演「竹原義二の仕事」と、先生を交えて本学のブライアン・パークガフニ教授とのパネルディスカッション(進行:山田由香里准教授)を行い、会場一杯の170名余りの参加者がありました。非常に美しい写真と詩的な言葉があふれる映像を背景に、竹原先生が設計された住宅作品の紹介とその解説を受けて、住むことの意味、生活と住宅の空間、建築の素材の取り扱い、設計者と大工・左官との関係など多くを学ぶことができました。本学在学生の参加も多く、大変有意義な講演会となりました。著名な建築家や構造デザイナーの講演を得る機会が少ない長崎で、本学科は、積極的にこのような活動を行い、在学生への刺激を始め、地域社会にも情報を発信しています。

再生古民家を見学しました

建築学科の3年生対象の集中講義「現代建築事情」にて11月19日、本学科OBで非常勤講師の鈴木弘祐先生(ie工房)が手がけられた再生古民家を見学しました。「書家の家」(諫早市)は、別の古民家の古材を再利用しており、佐賀県快適建築賞知事賞を受賞した「七浦葦葺きの家」(鹿島市)、古材を再利用し立派な梁や欄間がある豆腐屋さんの「佐嘉平川屋嬉野店」、和風の料亭「落柿(鹿島市)」などを訪問しました。参加学生は新たな視点で建築を学んだ様子でした。この講義のテーマは「建築の世界で古きを「活かす」」であり、見学前日の授業では、先生がニューヨークのホテルを日本の古民家風の内装にしたいという依頼を受けて、現地を訪れ打ち合わせをしていると、俳優のロバート・デ・ニーロが現れ、彼が経営に参加しているホテルだったという大変貴重な話を聞くことができました。このように、本学科では、第一線で活躍しているOBによるユニークな講義を実施しています。



03

船舶工学科

「夢の船研究会」
ソーラーボート部門で
今年も活躍!

今年度も就職率
100%達成



スラロームで快走中

船舶工学科「夢の船研究会」は、工学部の原点に戻り、「ものづくり」を通じて、学生自身が夢を持ち、工学的センスを磨くため、有志を募って始めた活動で、電気電子工学科のソーラーカーチームの応援を受けて、96年度から取り組んでいます。通常の排水量タイプの船で、ソー

ラーパネルで発電した電力をバッテリーに蓄え、バッテリーの電力でモーターを回して推進します。

「2011年柳川ソーラーボート大会」が8月6日(土)～7日(日)に開催され、一般14艇、学生28艇の計42艇が出艇し、本学のソーラーボート「Solar ABA ABA」は周回決

勝レース5位、スラローム6位入賞を果たしましたが、少し悔いの残る大会となりました。次年度に向け新しい艇を製作して優勝目指します。ただ今メンバー募集中です。



直線でデッドヒート!



スタッフと記念撮影

04

機械工学科

小惑星探査機「はやぶさ」
帰還カプセル展示
および公開講演会



「はやぶさ」帰還カプセル展示

小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展示が12月1日(木)から12月4日(日)の4日間にわたって、本学シーサイドキャンパスにて開催されました。この展示企画は、機械工学科が主体で実施している次世代航空機用複合材料に関わるJAXAとの共同研究がきっかけで応募することとなり、実現しました。

展示期間中は、6,000名近くの多くの見学者があり、展示室では、機械工学科・松川豊准教授による「はやぶさ」帰還カプセルの丁寧な解説も行われました。松川准教授は、本学に赴任前はJAXAで研究をしておられ、本学でも再突入カプセルに関する研究をしておられます。

また、最終日の12月4日(日)には、

「日本の宇宙技術―使う宇宙、暮らす宇宙」と題して、JAXA広報部の坂下哲也先生をお迎えして、機械工学科主催の公開講演会を開催しました。坂下先生は宇宙輸送機HTVの開発に携われ、講演会では、宇宙輸送機や宇宙ステーションをはじめ、今後のJAXAにおける宇宙開発について興味深い話を聞くことができました。公開講演会には、200名以上の会場に入りきれないほどの参加者があり、宇宙への関心の高さを実感しました。



「日本の宇宙技術」公開講演会の様子

05

電気電子工学科
[電気電子工学コース]

山邊ゼミ紹介
リチウムイオン電池の開発



リチウムイオン電池の材料合成実験の様子

私たちの日常生活において必要不可欠になっている携帯電話などの小型の電子機器の電源として、充電・放電が繰り返して出来る「二次電池」があります。その二次電池の中でもリチウムイオン電池が広く使われています。なぜなら、同じエネルギーを出力するとして比較した場合、従来の電池に比べ、より「小型」、「軽量」、「充電時での劣化少ない」という点で優れているためです。今後は、電気自動車等への搭載のために「高出力」、「高容量」の電池の開発や、携帯電話等の電子機器の更なる小型化を図るために出力を保ったまま小型化を目指す開発が期待されています。電池は「+（プラス）である正極」と「-（マイナス）である負極」から構成されていますが、本研究室では様々な条件の負

極材料を用いて電池を1から作成し、充電・放電を繰り返して、「高出力」、「高容量」、「高充電効率」の負極材料の新規作成を目的とした研究を行っています。

九州電力・長崎電力センター
総合制御所を見学

4年生の講義「電気法規・電気施設管理」の一環として、11月に九州電力(株)長崎事業所管轄の施設を見学しました。諫早変電所と県下全域の電力送電系統を一括監視・制御している長崎電力センター総合制御所を見学し、当システム全体の内容について詳しい説明を受け、また、制御システムシミュレーションを体験しました。



06

電気電子工学科
[医療電子コース]

4年生が臨床工学技士国家試験
受験に向け猛勉強中!!



国家試験受験対策授業の様子

医療電子コースでは、国家試験受験対策授業として4年生後期で医療系と工学系の総合演習に取り組む他、全国統一模擬試験に向けて、各自試験内容に沿った勉強を始めています。国家試験を受験希望者全員が12月5日(月)に第1回全国統一模擬試験を受験しました。

試験結果では、まだ目標に到達していない学生が見られましたが、冬休み期間中に各教科の苦手な内容を把握し、多くの試験問題に取り組み1月の第2回目の試験など、計3回の模擬試験後に最終調整をして3月の国家試験に臨みます。

病院就職希望者は全員が
就職内定しました!!

4年生は、大学院への進学希望者2名を含めて、病院や企業への就職など各学生がそれぞれの目標に向け準備を進めていますが、現在、昨年と比べ早い段階で、就職先が決まっています。進学者は2月に大学院を受験する予定となっており、卒業研究と大学院受験に向け努力を重ねています。本学の医療系の求人は、1名の学生に対し4~5件の求人が来ており、各学生が目指す業務を十分に考慮して就職先が決められる状況となっています。



07

知能情報学科

ながさきユニバーサルデザイン
アイデアコンクールにおいて
学科生が一般部門で大賞



表彰式の様子



平成23年度ながさきユニバーサルデザインアイデアコンクール(長崎県主催)において、知能情報学科3年の小山健太君が一般部門で大賞を受賞し、応募総数809名の頂点に立ちました。小山のアイデアは「かけ忘れ確認Key」という、鍵をか

けたかどうか一目見るだけで確認出来る機能を備えたkey。12月10日に長崎県美術館で開かれた表彰式では「審査員をうならせる程の出来、特許になるかも。最高得点!」と非常に高い評価を受けていました。

知能情報学科入口に
クリスマスイルミネーション

今年も残すところあとわずか。知能情報学科では1年生が中心となってグリーンヒルキャンパス17号館入口にクリスマスの飾りつけを施しました。今年では省エネを意識し、照明を抑えて演出しています。



08

経営情報学科

2011年度卒業予定者による
卒業論文の中間発表



中間発表の様子

2011年度卒業予定者の卒論中間発表が10月25日(火)行われました。今年は、14グループ(30名)が卒論に挑みました。内容は、本学科の教育主題である「経営」と「情報」に沿った研究がメインですが、今年では世相を反映させた「少子高

齢化」「ごみ問題」や「中小企業の魅力」などの研究が行われています。経営分野としては、「キャッシュフローから見るバブル期の自動車産業」「財政分析によるマンション管理」「長崎市におけるコンビニエンスストアの立地状況の分析」「ミヤン



研究テーマを共同で発表

マーにおけるコンビニエンスストア経営の戦略」「経営品質向上活動とその成果について」などに加えて、「スポーツ活性化要因分析」や「類似県との比較から見た長崎県の生活満足度」などの社会学の要素を含めた研究が行われています。情報分野としては、「学科Webサイトの改良」「本学同窓会名簿の再構築」のほか、「学生の交通機関についての考察」などの生活に即した情報分析が行われています。

CAMPUS MESSAGE

本学主催の合同企業面談会が開催される

長崎総合科学大学主催の合同企業面談会(A日程)が12月15日(木)、ホテルニュー長崎にて開催された。これは、学生の就職支援を目的に毎年開催しているもので、今年で12年目。主に平成25年3月卒業見込者(現3年生)を対象としている。厳しい雇用情勢が叫ばれる中でも、採用計画がある九州圏外の企業62社が参加。学生も3年生を中心に230名の参加があった。各ブースでは、採用担当者が業務内容や採用計画について

資料や映像を示しながら説明し、学生は真剣な表情で面談に臨みメモを取りながら話を聞いていた。また本学4年生の内定者が企業側として参加しているブースも見られた。

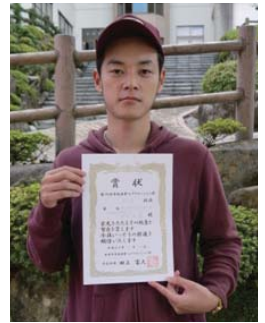
会場では、学長をはじめ教員も多数出席し、企業との情報交換に積極的にブースを訪ねていた。尚、2012年2月20日(月)の合同企業面談会(B日程)では、主に九州圏内の企業を招待し開催するよう予定している。

空手道部主将が市民体育祭で優勝

空手道部主将の朝長義迪君(工学部機械工学科3年生)が10月10日に長崎市の三菱重工総合体育館で開催された第14回長崎市民体育・レクリエーション祭(主催:長崎市、長崎市教育委員会、財団法人長崎市体育協会、長崎市レクリエーション協議会)において、一般男子個人組手の部で見事優勝に輝いた。

朝長君は試合を振り返り、「これまで、練習でやってきたことが本番で緊張してうまく発揮でき

ないことが多かったが、前大会での反省点を活かして練習に励み、自信をつけてきたのが優勝に繋がった。」と語ってくれた。



■2012(平成24)年度 入試のご案内 ※試験の詳細については、入試案内にてご確認ください。

制度 項目	一般入試		センター試験利用入試		AO入試 AO特待生入試
	前期	後期	前期	後期	
出願期間(消印有効)	1/5(木)~1/27(金)	2/14(火)~3/6(火)	1/5(木)~2/3(金)	2/20(月)~3/9(金)	受付中~3/16(金)
試験日	2/4(土)・2/5(日)	3/11(日)	—	—	随時
入試科目等	2科目 1時間目 1.国語(国語総合(古文・漢文を除く)) 2.理科(物理I+II、化学I+II、生物I+II) 2時間目 3.数学①(数I+数A) 4.数学②(数I+数II+数A+数B) 3時間目 5.外国語(英I+英II+リーディング)		3科目 1.国語(国語)(国語のうち近代以降の文章) 2.地理歴史・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現代社会、倫理、政治・経済、「倫理、政治・経済」) 3.数学①(数I、数I・数A) 4.数学②(数II、数II・数B、工業数理基礎、情報関係基礎) 5.理科(理科総合A、理科総合B、物理I、化学I、生物I、地学I) 6.外国語(英、独、仏、中、韓) <small>※英語はリスニングを含む</small>		面接(個別) 志望理由書 出願時提出 [600字~800字]
試験場	長崎、佐世保、五島、対馬、那覇、鹿児島、宮崎、大分、熊本、佐賀、福岡、松山、広島、大阪、東京	長崎、鹿児島、福岡、広島、大阪、東京			原則として本学
検定料	28,000円		13,000円		30,000円
合格発表日	2/13(月)	3/16(金)	2/13(月)	3/16(金)	2/13(月)、3/6(火)、3/16(金)、3/23(金)

Staff Column スタッフコラム

打ち上げから帰還まで7年間、度重なる困難を乗り越え無事地球へ帰還した、小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセルの実物を本学で展示しました。小学生低学年から高齢の方まで幅広くたくさんの方々にご来場頂き、現物を目の当たりにして、技術のすばらしさ、「はやぶさ」こめられた思いに触れ、カプセル帰還時の感動を思い出されていました。説明を聞いて目を輝かせている子どもたちに未来を感じ、「はや

ぶさ」への熱い思いに愛情を感じました。人々の思いと技術とが繋がると、感動を生むような素晴らしいことが起こります。本学でも、カプセルに使用されたような先進複合材料の研究など、幅広い分野の基礎から応用までの研究を行っており、学生も研究に参加しています。将来、自分が関った研究が人々の役に立っているのを見たとき、きっと感動するのではないのでしょうか。(Y)

Campus News URL | http://www.nias.jp/for_entrance/campusnews/index.html
 大学トップ ▶ 入試マガジン ▶ キャンパスニュース



〒851-0193 長崎市網場町536 TEL:095-838-5121 FAX:095-839-3113
 E-mail: adm@nias.ac.jp

0120-801-253 [入試広報課]

工学部 船舶工学科/機械工学科/電気電子工学科
(電気電子工学コース、医療電子コース)
 情報学部 知能情報学科/経営情報学科
 環境・建築学部 人間環境学科/建築学科(住居デザインコース(女子のみ)を含む)

NiASブログをご覧ください。クラブ活動や学生紹介、大学の近況などを紹介しています。

■ホームページ <http://nias.jp/>
 ■携帯電話から <http://nias.jp/mob/>

長崎総合科学大学 検索

